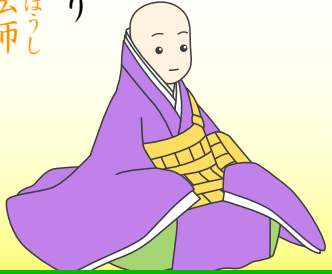


百人一首 (うたばんごう 歌番号: 81 ~ 85)

よもすがら
ものおもふ
物思ふころは
あけやらで
明けやらで
ねのひまさへ
閨のひまさへ
つれなかりけり

俊恵法師
しゅんえほうし



ながらへば
またこの頃や
しのばれむ
うしと見し世ぞ
憂しと見し世ぞ
今は恋しき

藤原清輔朝臣
ふじわらのきよすけあそん



世の中よ
道こそなけれ
おもひ入る
思ひ入る
やまの奥にも
山の奥にも
鹿ぞ鳴くなる

皇太后宮大夫俊成
こうたいぐうどうのだいぶんせい



おもひわび
さても命は
あるものを
憂きに堪へぬは
涙なりけり

道因法師
どういんほうし



ほととぎす
鳴きつる方を
眺むれば
ただ有明の
月ぞ残れる

後徳大寺左大臣
ごとくだいじのさだいでじん



ねやのひま
さえつれな
かりけり

うしとみし
よぞいまは
こいしき

やまのおく
にもしかぞ
なくなる

うきにたえ
ぬはなみだ
なりけり

ただありあ
けのつきぞ
のこれる